

# 令和8年度 一般会計予算

～歳入歳出総額は過去最大規模に～

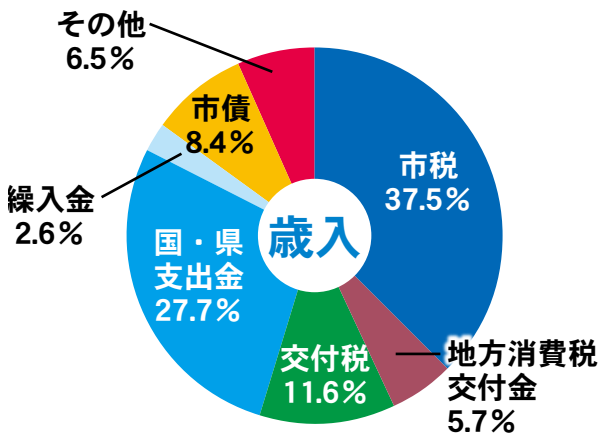
# 215億1400万円

前年度比16億1600万円増 (8.1% ↑)

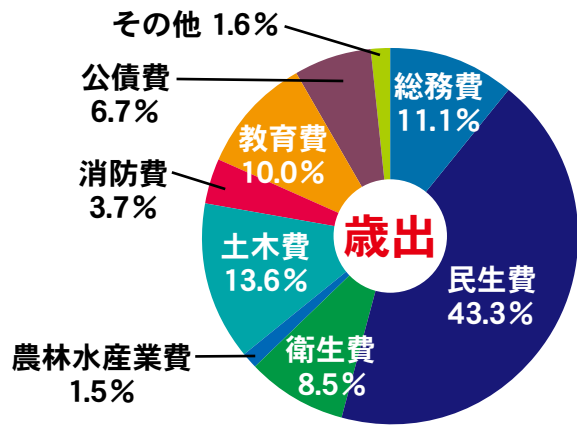
議案  
第16号 ▶ 可決

## 予算構成のポイント

令和8年度一般会計予算額は、前年度から16億1600万円増の215億1400万円で、過去最大規模となりました。「これからのまちづくりの発展に寄与する大規模事業と持続可能な行政運営を進めていくための予算編成」を基本方針として、積極的な予算が編成されました。



- ◆ 国庫支出金(+ 11.1億円)
- ◆ 市税 (+ 6.8億円)
- ◆ 県支出金(+ 2.1億円)
- ◆ 地方交付税(+ 0.6億円) など



- ◆ 土木費(+ 10.4億円) … 白岡駅東部中央土地区画整理事業、白岡駅西口線道路改良事業など
- ◆ 民生費(+ 6.3億円) … 民間保育所整備推進事業など
- ◆ 衛生費(+ 3.6億円) … 水道事業会計繰出事業など

## 予算の全容を問う：会派代表質疑から

**問** 乳幼児健康診査事業について、発達障がい早期発見を目的とした「5歳児健診」が新たに加わった。発達障がい児の現状と制度化の経緯、3歳児健診までとの違い、健診後のフォロー体制と関係機関連携、早期支援・保護者支援・就学前準備への効果を伺う。

**答** 3歳児健診は基本的な発達確認と疾病の早期発見を、5歳児健診は就学を見据えた発達・社会性の確認と支援の橋渡しを主な目的としている。児童発達支援サービスを利用する子どもは年々増加しており、健診後支援が必要と判断された場合は、保護者へ丁寧な説明を行い、個別相談や児童発達支援施設の紹介等を行う。また、保育施設や教育機関と連携を図り、親子が安心して就学期を迎えられるよう切れ目のない支援に努める。

**問** 本庁舎は、すすで汚染された状況を1年放置したままだ。制限付きでも利用できるようにするために災害復旧の専門業者による汚染除去等を行うべきだ。全面復旧予定の令和11年度まで全館

利用停止なのか。また、本予算で庁舎火災を理由に縮小や先送りした既存・新規事業はあるか。

**答** 令和7年度白岡市一般会計補正予算(第9号)で認めていただいたとおり、建物内の什器搬出等のため、火災後の庁舎内清掃業務を実施しているところである。本庁舎の復旧・復興に当たっては、早期の実現を目指していく。また、令和8年度当初予算において、庁舎火災を要因とした事業廃止、事業費の縮小及び事業の先送りは発生していない。



復旧・復興を目指している本庁舎

# 令和8年度の事業をピックアップ：予算特別委員会質疑から

3月議会で予算案を専門的・集中的に審査するため、**予算特別委員会を設置**し、詳細な質疑・検討を行いました。



## **新** 火災復旧事業 2億9968万円

火災からの復旧期間においても、市民サービスを止めることなく提供し続けるため、仮設本庁舎等の維持管理を行う事業



### ●総務分科会から

**問** 庁舎火災復旧事業と現庁舎等維持管理事業にかかる費用のすみわけはどうなっているのか。

**答** 現庁舎等維持管理事業は、清掃業務、警備業務等の委託料や光熱水費、電話料、修繕料など本庁舎で行っていた事をそのまま仮設本庁舎に置き換えて行うこととしている。

一方、庁舎火災復旧事業の予算は、仮設本庁舎のうち、火災に起因して新たに必要となる費用分として仮設本庁舎賃貸借料などを別に計上している。

**問** 市有建物災害共済委託事業について、令和7年度と比較し増加しているが、火災に起因することはあるのか。

**答** 市有建物災害共済委託事業の予算は、公益社団法人全国市有物件災害共済会へ委託しているものである。現状は、火災のあった本庁舎も加入したままの状態、令和7年度、新たに仮設本庁舎を加えた形となっている。今後は、社会情勢の変化などにより、共済金が上がることはあると聞いている。

## ●学校給食費の負担軽減

1億8346万円

### 小学校 給食費無償化を実施

(一人当たり月額5,700円の補助金を交付)

\*国の給食費負担軽減交付金と重点支援交付金を活用

### 中学校 保護者負担額を維持

(一人当たり月額1,800円の補助金を交付)

\*国の重点支援交付金を活用

### ●文教厚生分科会から

**問** 給食費の無償化について、アレルギーで給食を食べられない子への対応は。また、給食を食べられない子の人数は。

**答** アレルギーで給食を食べられない子はお弁当を持参している。無償化と同額の月5,700円の11か月分を市から補助金として交付する予定である。アレルギーのほか、宗教上の理由で給食を食べられない子がいた場合は同様の対応をする。人数は10名程度である。

## ●白岡駅西口エレベーター設置事業

1億3470万円

白岡駅西口広場整備の一環として、エレベーター設置工事を実施



設置予定場所 (囲み部分)

### ●産業建設分科会から

**問** 白岡駅西口エレベーターの設置場所は。また、工事費が高額だが本体工事費の内容は。

**答** 設置場所は、白岡駅西口自由通路の突き当たりとなり、現在の白岡駅西口の車ロータリーにエレベーター棟が設置される。また、その位置とした理由は、車椅子利用者等が駅を利用しやすいように、改札から西口に向かう導線が最短の経路となるよう設計を行っている。

工事費の内容は、建築工事費が約4000万円、電気工事費が約400万円、昇降機工事費が約3500万円で、経費として、共通仮設費、現場管理費、一般管理費、消費税等が計上された金額である。

**問** 工期はどのような予定か。

**答** 令和8年度早々準備を行い、夏頃に着工し、同年度中に完成予定である。